

今後の災害に備える！びわの生産量安定を目指して

～台風被害からの復旧技術研修会の開催～

安房農業事務所改良普及課 令和3年8月31日発

びわ産地では、令和元年房総半島台風により大規模な倒木などの甚大な被害がありました。優先順位をつけながら被害樹の復旧を進めてきましたが、2年経過した現在でも収量が低下している樹があります。生産量の安定を図るためには、台風到来前に、被災後の樹体管理方法を習得しておく必要があります。

そこで農業事務所では、農林総合研究センター暖地園芸研究所と連携し、若手生産者組織である房州枇杷研究会に対して、台風被害からの適切な復旧方法を周知するための研修会を令和3年8月11日に開催し、14名が参加しました。生産者からは「被害程度に応じた管理方法が理解できた。」などの意見が出されました。また、「樹体生育促進技術の開発をお願いしたい。」との要望もありました。当事務所では産地と連携し、びわの安定生産に向けて引き続き活動していきます。



倒伏した樹の整枝方法の指導



被災後に実施する臨機防除の指導